

「ディスカバー<sup>むら</sup>農山漁村の宝」(第5回選定)応募要領  
～見つけよう！今、元気なムラの取組～

1. 「ディスカバー<sup>むら</sup>農山漁村の宝」の趣旨

「ディスカバー<sup>むら</sup>農山漁村の宝」は、「強い農林水産業」、「美しく活力ある農山漁村」の実現のため、農山漁村の有するポテンシャルを引き出すことにより地域の活性化、所得向上に取り組んでいる優良な事例を選定し、全国への発信を通じて他地域への横展開を図るものです。

このため、他の地域の参考となるような優れた地域活性化の取組を募集します。

2. 応募について

(1) 応募の対象となる取組

地域において、新たな需要の発掘・創造や埋もれていた地域資源の活用を行うことにより、農林水産業・地域の活力創造につながる、次の①から③までのいずれかに該当する取組とします。

① 美しく伝統ある農山漁村を次世代へ継承する取組

(例：歴史的景観、伝統、自然等の保全・活用を契機とした農山漁村活性化を図る取組、消費者や住民のニーズを踏まえた都市農業の振興に関する取組 など)

② 幅広い分野・地域との連携により農林水産業・農山漁村を再生する取組

(例：6次産業化、農福連携、震災復興、都市と農山漁村の共生・対流を推進する取組、女性・高齢者の活躍する取組 など)

③ 国内外の新たな需要に即した農林水産業を実現する取組

(例：農泊を推進するためにインバウンドを含めた旅行者等を農山漁村に呼び込む取組、農林水産物の輸出に向けた取組、ジビエの普及啓発や需要拡大を推進する取組 など)

(2) 応募資格

① 選定の対象となる団体は、「(1) 応募の対象となる取組」に該当する取組を行っている団体とします。自薦、他薦は問いません。

② 過去に「ディスカバー<sup>むら</sup>農山漁村の宝」に選定された団体は、選定の対象になりませんので御了承願います。

(3) 応募方法

① 「ディスカバー<sup>むら</sup>農山漁村の宝」ホームページのトップページ上部にある、ナビゲーション「第5回選定地区応募方法」内の、応募フォームに必要事項を入力いただき、応募用紙 (Word ファイル) を添付のうえ、御応募ください。

「ディスカバー<sup>むら</sup>農山漁村の宝」ホームページ：<https://www.discovermuranotakara.go.jp>

② 応募用紙への記入方法は、後述の **記入要領** を御覧ください。

※応募方法にご不明な点がある場合は、6 の問合せ先まで御連絡下さい。

※今年より、ホームページからの応募に限らせていただきますので、御了承ください。

(4) 選定地区予定数

応募状況に応じて、応募の中から 20 地区～30 地区程度を「ディスカバー<sup>むら</sup>農山漁村の宝」の優良

事例として選定します。

さらに、優良事例の中からグランプリ 1 地区及び特別賞 5 地区を選定します。特別賞の政策テーマは下表のとおりです。

政策テーマ	特別賞の名称
インバウンドに対応した農泊	フレンドシップ賞
捕獲鳥獣をジビエ等に有効活用	ジビエグルメ賞
農林水産物とその加工品の輸出	チャレンジ賞
女性・高齢者・障がい者の活躍	アクティブ賞
6次産業化	プロデュース賞

#### (5) 選定方法

応募資料をもとに、有識者で構成される有識者懇談会により、以下の選定の視点に基づき総合的に審査・選定します。

##### 【選定の視点】

- ① 農山漁村の有するポテンシャルを引き出すことにより、地域の活性化や農林漁業者の所得向上に取り組んでいること
- ② 消費者の視点を大切に、経営マインドを持っていること
- ③ 農業・農山漁村の自立を促進していること

#### (6) 応募期間

平成 30 年 6 月 1 日（金）から平成 30 年 8 月 13 日（月）まで

### 3. 選定結果及び選定証の交付

- ・ 選定結果については、有識者懇談会による審査・選定の後、速やかに農林水産省のホームページ等において、公表を行います。
- ・ 選定された地区については、後日、都内で開催する選定証授与式において、選定証を交付します。

### 4. 「地方版ディスカバー<sup>むら</sup>農山漁村の宝」について

- ・ 応募された取組は、「地方版ディスカバー<sup>むら</sup>農山漁村の宝」として、応募者の所在地を所管する各地方農政局等においても、審査・選定を行います。
- ・ 選定結果については、各地方農政局等による審査・選定の後、速やかに農林水産省のホームページ等において、公表を行います。
- ・ 地方版「ディスカバー<sup>むら</sup>農山漁村の宝」に選定された地区については、後日、各地方農政局等より、選定証を交付します。

※各地方農政局等が所管する都道府県は 6. 問合せ先を御覧ください。

### 5. その他

- (1) 提出された資料については、後日、担当窓口から内容等の問合せを行う場合があります。
- (2) 選定された団体の取組は、全国へ優良事例として紹介していくため、広報・PR 活動、各種イベント等への御協力をお願いする場合がありますので、あらかじめ御了承ください。
- (3) 選定審査にあたり応募資料に虚偽又は選定後に優良事例としてふさわしくない行為があったと認められた場合には、選定を取り消し、選定証を返納していただくこととなります。

6. 問合せ先（問合せ時間 10:00～17:00 ※平日のみ）

①応募者の所在地：北海道

農林水産省 農村振興局 農村政策部 都市農村交流課 活性化推進班<事務局>  
〒100-8950 東京都千代田区霞が関 1-2-1  
TEL：03-3502-5946 FAX：03-3595-6340

②応募者の所在地：青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県

東北農政局 農村振興部 農村計画課  
〒980-0014 宮城県仙台市青葉区本町 3-3-1 仙台合同庁舎  
TEL：022-261-6734 又は 022-263-1111(内線 4445、4118) FAX：022-216-4287

③応募者の所在地：茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、山梨県、長野県、静岡県

関東農政局 農村振興部 農村計画課  
〒330-9722 埼玉県さいたま市中央区新都心 2-1 さいたま新都心合同庁舎 2 号館  
TEL：048-740-0480 FAX：048-740-0082

④応募者の所在地：新潟県、富山県、石川県、福井県

北陸農政局 農村振興部 農村計画課  
〒920-8566 石川県金沢市広坂 2-2-60 金沢広坂合同庁舎  
TEL：076-232-4531 FAX：076-263-0256

⑤応募者の所在地：岐阜県、愛知県、三重県

東海農政局 農村振興部 農村計画課  
〒460-8516 愛知県名古屋市中区三の丸 1-2-2  
TEL：052-223-4629 FAX：052-220-1681

⑥応募者の所在地：滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県

近畿農政局 農村振興部 農村計画課  
〒602-8054 京都府京都市上京区西洞院通下長者町下ル丁子風呂町  
TEL：075-414-9050 FAX：075-451-3965

⑦応募者の所在地：鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県、徳島県、香川県、愛媛県、高知県

中国四国農政局 農村振興部 農村計画課  
〒700-8532 岡山県岡山市北区下石井 1-4-1 岡山第 2 合同庁舎  
TEL：086-224-9416 FAX：086-227-6659

⑧応募者の所在地：福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県

九州農政局 農村振興部 農村計画課  
〒860-8527 熊本県熊本市西区春日 2-10-1 熊本地方合同庁舎  
TEL：096-211-9111(内線 4613) FAX：096-211-9812

⑨応募者の所在地：沖縄県

沖縄総合事務局 農林水産部 農村振興課  
〒900-0006 沖縄県那覇市おもろまち 2-1-1 那覇第 2 地方合同庁舎 2 号館  
TEL：098-866-1652 FAX：098-860-1194

## 記入要領

- ・ホームページ上の応募フォーム及び応募用紙（別添 Word ファイル）は、以下の点に留意して作成してください。  
（下記＜応募用紙（Word ファイル）＞の各項目左欄の①～⑩は、応募用紙の 1～11 に対応しています。）
- ・また、応募方法の変更に伴い、応募用紙の記載項目は昨年のものから若干の変更がございますので御注意願います。

### <選定地区応募フォーム> ※全項目必須

#### 【キャッチフレーズ】

- ・取組の内容を示すキャッチフレーズを簡潔に 20 字以内で記入してください。  
例：「〇〇のブランド化で地域興し!」、「〇〇だけど△△」、「日本一の〇〇」、「□□なら誰にも負けない」など、分かりやすいものを記載してください。

#### 【該当する取組】

- ・活動内容と関連する取組を選択（3つまで複数選択可）し、左欄の□にチェックしてください。

#### 【取組の概要】

- ・「取組の概要」は、取り組んでいる活動の概要を簡潔に 50 字以内で記入してください。

#### 【団体】

- ・「団体名」は、応募団体の正式名称を記入してください。
- ・「代表者氏名」は、応募団体の代表者名を記入してください。
- ・「所在地」は、都道府県はプルダウンから選択し、都道府県以下の住所を記入してください。
- ・「連絡先」は、応募団体の「電話番号」、「FAX」、「E-mail」を記入してください。

#### 【応募者】

- ・応募内容等についてお問合せする場合がありますので、日中連絡のとれる連絡先を記入してください。
- ・「自薦」または「他薦」は、該当する方の左欄の□にチェックしてください。

※優良事例に選定された場合、団体名及び連絡先は公表する場合があります。（氏名は公表致しません。）

#### 【応募のきっかけ】

- ・今回、「ディスカバー農山漁村の宝」をどのようにして知ることになったか、該当する項目を選択し、左欄の□にチェックしてください。

### <応募用紙（Word ファイル）>

#### ①【団体の概要】※必須

- ・団体の設立年、組織図、構成員、構成員数、役割分担を記入してください。

#### ②【活動のきっかけ】※必須

- ・活動を始めたきっかけや背景、これまでの活動経緯を 200 字以内で簡潔に記入してください。  
（例：〇〇地域では、課題となっていた〇〇解決のため、〇年頃に〇人のグループで〇〇の活動を始め、〇年に〇〇協議会を設立 等）

③【取組の具体的活動】※必須

- ・応募フォームの「該当する取組」で選択した取組の具体的な活動内容について、以下を参考に具体的に記入してください。（複数選択した場合、全体で600字以内）

（参考）

- ◇ 商品や活動のPR、マーケティング調査、購入者や訪問者とのコミュニケーション、イベント等の実施など、消費者、参加者のニーズをつかみ販売額や集客数（交流人口）の増加につながった活動
- ◇ 製造業や販売業へのチャレンジ的取組など、農林水産業の6次産業化の推進に寄与した活動
- ◇ 地域の農林漁家や住民の参加意欲の醸成、女性、若者、高齢者の参画、地産地消など地域資源を活用した活動
- ◇ 継続的な活動とするための活動費の確保、構成員や参加者などの活動意欲の醸成、組織の効率化や人材の育成など、経営・運営体制の充実、経営力の強化等に資する活動
- ◇ 地域の特性に着目した商品、サービスの開発、特色あるデザイン開発、特許や商標登録など、オリジナル性の創出するための活動

④【活動実績】※必須

- ・生産量、売上高、来客数、宿泊者数、雇用者数、イベント回数、参加者数、定住者数、など、活動実績を示す数値（平成25年度から平成29年度まで。平成30年度については見込み）をできる限り記入してください。項目は活動内容に応じて、自由に記入してください。

- ・活動実績を示す数値の解説（具体的な内容）を20字以内で記入してください。

（例：「生産量」・・・地元特産の〇〇の加工品の生産量。「売り上げ」・・・〇〇における△△の販売量。「参加者数」・・・〇〇教室における小学生の参加人数 等）

※活動実績を「年度」ではなく、「年」で記載される場合は、その旨を解説に記入してください。

※売上がある団体におかれましては、活動実績として「売上高」を記入してください。

※来客がある団体におかれましては、活動実績として「来客数」を記入してください。

⑤【活動の主な変遷】※必須

- ・これまでの貴団体が取り組んできた主な活動の変遷（発足初年度及び平成25年度から平成29年度まで。30年度については見込み）をできる限り記入してください。

（例：H〇〇に〇〇体験ツアーの開始、H〇〇に新商品〇〇の生産開始 等）

⑥【活動の効果】※必須

- ・活動がどのような形で

- 1) 農山漁村の有するポテンシャルを引き出すことにより、地域の活性化や農林漁業者の所得向上に取り組んでいること
- 2) 消費者の視点を大切に、経営マインドを持っていること
- 3) 農業・農山漁村の自立を促進していること

に寄与しているか、400字以内で具体的に記述してください。

⑦【今後の展開方向】※必須

- ・今後予定している活動や、取組の展開方向について、200字以内で具体的に記述してください。
- ・貴団体の活動をどのように他地域に広げていこうとされているのかについても記述して下さい。

⑧【活動状況がわかる写真、効果を示す図表】※必須

- ・活動内容や成果・効果を視覚的に伝えることができる写真・図表等を添付してください。

（写真や図表は、非常に有効な選定材料となるため、創意工夫した点など活動のポイントや特徴が表現されたものが望ましいです。）

- ・活動を代表する写真を必ず1枚以上添付してください。

- ・各写真・図表の下に、その内容の説明を20字以内で記入してください。

・第三者の肖像権、著作権、プライバシー等を侵害することのないよう十分に御注意ください。

⑨【表彰等の受賞歴】 ※該当するものがあれば必須

・過去に受賞した表彰等について、受賞年度及び主催者を記入してください。現在応募中の表彰等があれば、「(応募中)」と記入してください。

⑩【補助金等の活用状況】 ※該当するものがあれば必須

・平成 25 年度以降に交付を受けた、国、地方公共団体、財団等からの補助金の事業名（年度毎）とその助成団体名を記入してください。

⑪【活動に関するPR・エピソード】 ※自由記入、写真等添付可

- ・活動のアピールポイントや、活動内容・成果にまつわるエピソードを記入してください。
- ・⑧で添付しきれなかった写真等があればこちらに添付してください。
- ・記入する文字数に制限はありませんが、応募用紙のページ数が増えない範囲で記入してください。

【注意事項】

※記入欄に指定された文字数の範囲内で記入してください。

（文字の大きさも、当初の設定から変更しないでください。）

※この選定は、農林水産行政施策の推進として、選定された取組内容を全国へ発信することが目的であることから、応募用紙に記載・掲載いただいた内容及び写真については、農林水産省が行う広報活動及び地方公共団体への情報提供等（農林水産省ホームページ等への掲載、選定事例集への掲載、政府施策紹介資料への掲載など）に使用することがございますので、あらかじめ御了承ください。